



# 教育センター・育成センター所報

# GALILEI



2014. 2. 22 第 12 回 柏崎の教育を語る会 in アルフォーレ

## CONTENTS

- 今月の巻頭言 ..... P 1
  - ★柏崎の教育と文化 教育センター副所長 山田 智
- 教育センターだより ..... P 2
  - ★アクセス（教育研究班）..... P 2
  - ★プロジェクト K（科学技術教育センター）..... P 6
  - ★心の窓（教育相談班）..... P 10
- 4月の行事予定表 ..... P 13
- 所員随想「つれづれ」 ..... P 13
  - ★季節はめぐる 教育相談班 相談員 植木 瞳

平成26年3月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

## 柏崎の教育と文化



柏崎市立教育センター 副所長 山田 智

自分の文化的知識がかなり少ない中で、標記内容に触れることをどうかお許してください。それでも「教育」と「文化」との関連を図っていくことが大事だと願っています。

柏崎市は古くは鑄金・工芸の町として歩み、その他の芸能、芸術も受け継がれ、幾たびの波乱を経験しながらも発展してきました。教育界では人づくりが脈々と続けられており、「教育文化都市、柏崎」の土壌があると感じます。現在、「ともに歩む地域の学校づくり」が推進しており、学校、家庭、地域が一緒になって子どもを育てる流れが全ての中学校区で推進されていることも「教育文化都市」としての土壌があるからだと思います。

そんな中、私たちが芸術や文化に触れる機会は多くなっています。このことは自分の限界、壁、考え方の枠を広げてくれる気がしています。この分野にあまり関心がなくても、ちょっと意識して学校や地域にある芸術・文化作品の前に立ち止まり、感じてくるままにそれを受けとめてみます。何も感じなければしばし待ってみます。学校の廊下や階段の踊り場、前庭にあるモニュメント、校長室や会議室にある絵画でも価値は高いはずです。性急な心の変化は起こりませんが、毎日意識してこのことを繰り返していくと、ある日、思いがけず一つの作品の存在が大きくなって、作品の方から自分に迫ってくるような感じになってきます。こういう自分になることは、今までの自分とは少し違う自分になっているのだと思います。

H25年度は、柏崎市在住の書家、白倉南雀氏より講師になっていただき、柏崎から旧和島村を巡り貞心尼と良寛のお墓を訪ねた「良寛再晩年の生き方」に触れる講座や、新潟産業大学の北原保雄学長から普段の日本語の使い方を振り返るような講座を開設しました。

H26年度のセンター講座では、芸術院賞を受賞した原益夫氏から講師になっていただき参加体験型の実習を通して芸術、文化に触れることの意味を語っていただきます。そこでは原先生の生き方そのものを学んでいくことを考えています。また、世界に誇る日本文学研究家でいらっしゃるドナルド・キーン氏からも直接お話をいただき、自愛の精神を学びとっていきたいとも考えています。

これらは一部の場合を除き、直接的には教科領域等の指導方法の改善には直結はしないのかも知れませんが、様々な方面での視野を広げてくれる機会になると思いますし、何よりも、教育を通じて、先生方や子ども達が柏崎の文化を継承し創っていく流れを創ることになると思います。柏崎市立教育センターの役割として、他の機関と一緒にになりながら、柏崎の文化的資源を活用しながら柏崎の教育を創っていく責任があると考えています。

## ■ H25年度研修講座を振り返って

173 講座、3939 人の教職員等のみなさんから利用していただきました。皆さんからいただいた感想や建設的な意見を集約してみました。

### 授業づくりゼミ（5回）

- 単元構想シートを用い、こんな子どもに育てたい！これだけは伝えたい！という教師の情熱を大事にした単元構想と、授業配置作業を行うことができた。
- 望ましい指導案検討、授業公開、協議会の流れを提案し、それぞれの学校での校内研修の充実を図る。



### デジタル教科書活用

- 基本的な使い方の習得だけでなく、授業場面でどう使うかについての対話時間をとったことで一層の活用に結びついた。
- 先生方、学校によって活用頻度に差がある。課題把握、問題解決場面で「ここは」と言う場面では、必ず活用するようにする。



### 柏崎教養シリーズ



- 柏崎の文化的価値に触れることで直接的間接的に授業づくりに生かしたり、幅広い視野をもつことにつながったりした。
- 参加体験型の講座にして、その後半で講師先生との対話を通してより一層、文化的価値に触れるようにする。人としての力量をさらに高め、日々の教育活動に生かしていきたい。



### 防災教育



- 震災発生時、釜石市内の小学校に勤務、校舎を津波にのまれながらも一人の犠牲者も出さずに避難させた、加藤孔子校長先生からの講話から、防災や避難生活を成り立たせるものは「日常のつながり」ということを学んだ。
- 多くの教職員に聞いてもらいたかった。また機会があれば、現場で起こった話を聞きたい。



平成25年度 柏崎市立教育センター 研修講座一覧	
<b>授業づくり</b>	「学びごとが美しい」といって子どもが感じるような授業が学校ぐるみで実践されるよう、講義や実践授業の他、ゼミ形式で互いに授業力を高め合う講座も開設します。
<b>デジタル教科書活用</b>	「これは効果的」といって授業での活用事例を学びたい。活用事例の紹介では先生が子どもとどのような授業実践も行います。
<b>教育施設の活用</b>	子どもの学びを実感するものにするために博物館やサイエンスセンター、ふるさと人物館など、人脈などの施設を活用した授業を事例から学びます。収録版も発行します。
<b>防災教育</b>	東日本大震災の際、避難所として実際に子どもたちを安全に避難させた経験者、前浜小学校 加藤孔子校長先生よりご講話に尽くる。災害時の各種対応や防災についての講話について学びます。
<b>科学技術教育</b>	新学技術教育にかかわる教材開発や授業実践の研修です。〈3者協賛〉
<b>特別支援教育 教育相談・等</b>	通常学級での特別支援教育を基盤とした授業づくりや、特別支援学級経営、関係機関のあり方等についての研修です。また、手帳型コンパルテーションを新設しました。
<b>教育の情報化 ICT機器活用</b>	スクール・ネット・ワークのモデル等、ICT機器等の活用に関する研修です。
<b>とも歩む「地域の学校」づくりの推進</b>	とも歩む「地域の学校」づくりを推進するために、人権教育、習熟教育、子どもの虐待防止、保護者等との

### 教育の情報化 ICT 機器活用

- 通知表や要録作成等、教職員のニーズにタイムリーに応えることができた。講座日程以外でも困り感に対応することができた。
- 一層の機能活用を図り、効率的な公務遂行と教職員同士のコミュニケーションの深化を進める。



### 科学技術教育

- ニーズを把握し授業改善に直結する研修ができた。
- 科学教育財産の活用を促進する。また、柏崎市の未来を見据え、工科大学や工業高校、理数科のある高校が立地するメリットを最大限生かした理数科教育の充実を図る。



## ■子どもが「希望をもてる」「チャレンジ出来る」環境づくりを

～柏崎の教育を語る会の報告（その②：柏崎子ども会議から）

今回も、2月号に引き続き2月22日に行われた「柏崎の教育を語る会」のまとめを掲載します。柏崎の子どもたちは「未来にもっと希望をもって良いのでは?」「難しいことにもっとチャレンジしても良いのでは?」等とよく言われます。しかし、この会で「子ども会議」に参加した中高生たちは、10年後の柏崎市や**自分の生き方について力強く語っていました**。その中には「観光の街として外からたくさんの人たちが訪れるような市にしていきたい」「自分だけでなく、すべての人が笑顔になれる市であってほしい」等と語っていました。未来に対しての大きな希望を表現しました。

また、そうなるために「多くの人と接し、柏崎市の歴史や文化を学びたい」「英語などの勉強を頑張り視野を広げていきたい」等、自分がチャレンジしていきたいことにも言及し、地域や保護者への要望として、「私たちの声を聴き新しい伝統を築く流れを創ってほしい」「柏崎の良さを伝える場を設定してほしい」等、建設的な意見も述べていました。

これらの発言から、この子たちは「未来に希望をもっている」「チャレンジ精神も旺盛」だという印象をもちました。子ども達のために何をするかを**学校、家庭、地域が一緒になって考えるとき、「希望をもてる」「チャレンジ出来る」環境づくりをすることが、子どもたちの姿勢を変えていくことにつながると確認しました。**



子ども会議出演の 今井さん(翔洋)神林くん(東中)村山さん(常盤)

### ①10年後の柏崎の理想の姿と、その中での自分の生き方は？

すべての人が笑顔 観光の町 好きなことに打ち込みながら働いていきたい

### ②それを実現するために、今がんばりたいことは？

文化や歴史 だれとでも接していきたい 視野を広げていきたい 英語をがんばりたい  
客観的な視野 好きなこと・運動

### ③保護者や地域から応援してほしいことは？

柏崎の良さを伝える場を設定 思い出や歴史 地域の特徴を生かした行事  
子供たちの声を聴き新しい伝統を築く

こども会議で発言された内容

## ■教育センター研修講座の今後について

～「先生方が指導方法を改善する」ことで、「子どもが学び方を身に付ける」～

「とてもいい研修で元気をもらいました。学んだことを自分の授業改善につなげるだけでなく、学級の子ども達の様子も変えていかなければ、と強く思いました・・・」

これは、今年度の講座を受講された方々の感想にしばしばあった記述です。指導方法の改善にかかわる研修の目的を省みる機会になると感じてきました。研修を通して、先生方の指導方法が改善されていくことはとても重要なことです。しかし、その先には、子どもの「姿」が変わっていくことが必須です。

ここで目指す「姿」とは、単に「問題が解ける」等にとどまりません。それは「どんな課題に対しても正対し立ち向かう」「それぞれの過程でどう考えていけばよいかわかる」あるいは、「学習習慣を身に付けている」等だととらえ、まとめると**「学び方を身に付ける」と捉えています**。平成26年度、教育センターでは、このように講座開設の目的を一層明確にしていきたいと思えます。



## ■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

### 資料を登録しました

#### ◆コンテンツサーバ(スクールオフィス)

登録日	資料名
3/3	スクールオフィス・IT環境に関するチェックリスト.xlsx 校務PCスタートアップテキスト_V1-2.pdf (第1.2版)

#### ◆コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
3/14	ALT News Letter 第28号

## ■ 情報関連講習会のご案内

### 4月に実施されるスクールオフィス関連講習会

#### ◆H26.4.4(金) スクールオフィス新任者講習(養護教諭、学籍担当者向け)

市外からの転入または新任の養護教諭および学籍担当者向けに、前後半の2部に分けて実施します。  
前半は養護教諭向けで、保健管理システムの概要と、年度のスタートにあたって最低限必要な業務について学習します。  
後半は学籍担当者向けで、日々の健康観察の入力手順と保健管理の健康観察マスタとの関連性、出席簿の作成手順について学習します。

#### ◆H26.4.9(水) スクールオフィス新任者講習(管理者向け)

市外からの転入または新任の管理者向けに、スクールオフィスの概要と、年度のスタートにあたって最低限必要な業務について学習します。

#### ◆H26.4.10(木) スクールオフィス新任者講習(事務職員向け)

市外からの転入または新任の事務職員向けに、スクールオフィスのグループウェアと文書管理サブシステムの使い方について学習します。

## ■ セキュリティ情報

### セキュリティホール情報(Windows)

マイクロソフトより、3月12日付で3月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が2件、「重要」が3件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

### WindowsXP および Office2003 のサポート終了について

既に様々なメディアで取り上げられていますが、2014/4/9(日本時間)で、WindowsXP、Office2003、IE6のサポート期間が終了します。この件について問題点を整理しておきましょう。

#### (1) サポート終了が意味するもの

サポートが終了した製品は、それ以降に重大な欠陥が見つかったとしても、修正するプログラムが提供されることはなくなります。たとえばセキュリティ上の重大な欠陥が見つかり公表されると、悪意を持つ者はその欠陥を外部から攻撃するような行動に出ますが、その欠陥を直すことができなくなるわけですので、ウィルス

の感染や情報漏えいのリスクが著しく高くなります。

OS (Windows) のサポートが終了すると、その上で動く他社製アプリケーションもサポートを終息させる動きになります。ウイルス対策ソフトも例外ではありませんので、ウイルスなどの侵入を防ぐことが難しくなります。また、プリンターなどの周辺機器もサポートが終了した OS 用のドライバは提供されなくなりますので、新しい製品を購入しても使えないということも考えられます。

要するに、サポート終了日がきたらいきなり Windows XP や Office2003 が使えなくなるということはありませんが、メーカーが「もう責任は取らないから使わない方がいいですよ」と言う段階にきたということでしょう。

製品名	サポート終了予定日
Windows XP	2014/4/8
Windows Vista	2017/4/11
Windows 7	2020/1/14
Office 2007	2017/10/10
Office 2010	2020/10/13

主な製品のサポート終了予定日 (変更される場合もあります)

#### (2) 4/9 以降も WindowsXP や Office2003 を使い続ける場合の注意

サポート終了日を過ぎてても使えなくなるわけではありませんが、業務にも使用するパソコンとして考えた場合、今まで通りの使い方で良いというわけにもいかないでしょう。以下の点に注意が必要です。

- ・サポート終了前に、その時点で提供されている修正プログラムを Windows Update から適用しておいた方が良いでしょう。(現在の情報では、4/9 以降もそれまでに提供された修正プログラムは適用できるようですが、それがいつまで可能かは不明です。)
- ・サポートが終了した製品を、非公開情報を扱うような作業に使用するのは控えるべきでしょう。その他の用途でやむを得ず使用を続ける場合、そのパソコンではインターネットを利用すべきでないと考えた方が良いでしょう。(現在の情報では、4/9 以降も多くのウイルス対策ソフトが、一定期間 Windows XP のサポートを継続するようですが、それもそれほど長い期間ではないでしょう。自分が利用しているウイルス対策ソフトのサポート期限をしっかりと確認しておく必要があります。仮にウイルス対策ソフトがサポートを継続していても、新たな欠陥が見つかったとき、そこを狙ってくる攻撃をウイルス対策ソフトだけで防げる保証はありません。)
- ・サポート終了後は、他のパソコンとデータをやり取りする場合、セキュリティ対策がしっかり施されている(サポート切れでなく、アップデートが確実に実行されており、ウイルス対策ソフトが最新の状態になっている)パソコン側で、やり取りに使用する USB メモリ等のウイルスチェックを「利用の都度、開く前に確実に実行」ということが必須になります。(インターネットを使っていないから安全という考えは捨てるべきです。)



# プロジェクト K

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

## 研修会・事業の様子

- 要請研修 鯖石小学校 5・6年 放射線教育 2月25日実施  
比角小学校 6年 放射線教育 3月4日・5日実施

### ◇内容

文科省が示した放射線の副読本は内容が盛り沢山なことから、より内容を精選して授業を行っています。2時間扱いで、1時間目は放射線の特徴とその利用および自然放射線の観察、2時間目は放射線の危険性と原発事故などが発生した時の対処法を指導します。福島原発の現在の状況も含め、報道などに対して冷静に判断できることを願っています。



ベータちゃんて調べてみました。(鯖石小学校)



自然放射線の飛跡の観察(比角小学校)

こんな理センの利用の仕方はいかがですか？

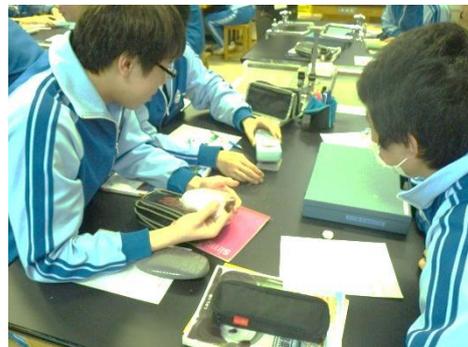
- 要請研修 第一中学校 3年 放射線教育 2月20日実施

### ◇内容

授業の主体は担任の先生が行い、センター職員は実験準備及び補助という形で参加しました。自然放射線を観察できる霧箱は、実験そのものは簡単ですが準備に時間がかかり、実験を成功させるのにちょっとしたコツが必要です。その手間をセンター職員が代行するスタイルです。放射線の授業に関わらず、実験で手が足りないという場面が想定される場合には遠慮なく声をかけてください。



指導者は担任の先生



放射線の測定をする生徒たち

## ○放射線測定器研修 2月27日実施

◇講師 原子力安全技術センター 上沖 寛 様・村上 宣興 様

### ◇内容

県から柏崎市に配置された放射線測定器の使い方と放射線の基礎を教えてくださいました。放射線教育の授業ではベータちゃんやはかるくんを使用することが多いと思いますが、今回配置されたものは実際の空間線量を測定する機器です。測定器は2種類あり、より正確な線量を測定する機器シンチレーションサーベイメータ(24台)、簡易測定器ペガサス(70台)です。保管場所は当センターです。来年度から学校への貸し出しが可能ですので、ご利用ください。



講師の先生方



測定器を使っている様子



ペガサス(70台)



シンチレーション  
サーベイメータ(24台)

## ～先生方へ～

### 新年度の授業準備は進んでいますか？



年度末・年度初めと慌ただしい時期ではありますが、新年度を気持ちよくスタートさせるためにここは踏ん張りどころです。

### ○薬品点検、理科準備室の整理整頓を！

#### ・薬品点検を行きましょう。

年度当初の理科主任会でも、年3回の薬品点検をお願いしています。理科準備室の整理と年度初めの薬品点検を行い、保有薬品量を把握しましょう。

#### ・ペットボトル等での薬品の保管は極力避けましょう。

ペットボトル等での薬品の保管は極力避けましょう。やむをえない場合は、容器に内容物が何であるのか明記しましょう。食塩や砂糖など、食品をそのまま実験で使う場合には、誤飲誤食を防ぐため、容器を移し変えるか、実験用であることを明記する必要があります。

#### ・実験器具の点検をしましょう。

実験器具は次に使うことを考え、きれいに洗浄して、使いやすく整頓しましょう。通常の洗浄では、集気ビンなどに付着した白い汚れや、染色液による汚れはなかなか落ちません。理科主任の先生を中心に、作業日を決めて計画的に実施しましょう。

※器具の取扱い、薬品の管理などについて、ご不明な点があればいつでもお問い合わせください。

### ○年間の野外観察等の予定を検討しましょう

年間を見通して地層観察会や星空観察会などの日程を検討し、年間計画に予定を入れておきましょう。プラネタリウム授業、放射線教育も同様です。要請研修を希望される場合には、早めにご連絡ください。

## ～小学校の先生方へ～

早いうちに用意する必要のあるものをあげてみました。チェックして見直してみましよう。

### <3年生>

#### ○キャベツ苗

モンシロチョウに卵を産ませます。なくならないうちに早めに苗を入手しておきます。

#### ○ヒマワリ、ホウセンカの種

授業で最初にするのが種まきです。種まきの時は、水につけるなどして発芽率を高めましよう。

#### ○棒温度計、虫めがね、遮光ガラス、方位磁針

壊れているものがないか確認し、数を補充しておきます。方位磁針は、南北が反対になっているものを直しておくことも必要です。

### <4年生>

#### ○ヘチマ、ダイズの種

ヘチマは発芽率が良くない場合があるので、予備を多めに植えておくことも大切です。

#### ○温度計、百葉箱（記録温度計）

棒温度計は3・5年生でも使います。割れているものや液切れしているものがないか確認しておきましょう。

### <5年生>

#### ○インゲン豆、ヘチマ、キュウリの種

インゲン豆はつるなしのものを準備します。ヘチマ、キュウリは7月の単元ですが早めに育てておきます。（受粉の実験に使うので苗を準備してもよいです。）

#### ○百葉箱

箱自体だけでなく、中の温度計も壊れていないか確認しておきます。

#### ○メダカ、水草

メダカは飼育用具が必要です。特に飼育水槽にはメダカを入れる数日前から水を循環させておくようにしましよう。

#### ○ヨウ素液

ポピドンヨードを使用したうがい薬を薄めたものでも代用できます。褐色のビンに入れ、冷暗所で保管しておきます。

### <6年生>

#### ○種イモ（ジャガイモ）

ホームセンターや種苗店で売っているものを使います。

（人気のある品種の種イモは早い時期に売り切れてしまうことがあります。）

#### ○ロウソク、マッチ、線香

思った以上に数が必要になることがあります。事前に準備し、しっかり管理しておきましよう。

#### ○燃焼さじ

ロウソク立てが取れていたり、曲がって使いにくくなっていたりするものがあります。数も確認しておきましよう。

#### ○集気ビン（底あり、底なし）

欠けたり、ヒビの入っているものは使えません。白い汚れは薄めた塩酸で洗うときれいになりま

す。燃焼実験の時、フタはガラス製のものは使えません（無い場合は、木片とアルミ箔で自作しておきます）。

#### ○石灰水

専用の容器を決めて、作り置きしておくくと便利です。急ぐときは消石灰を混ぜた水をコーヒーフィルターでろ過するとよいでしょう。

#### ○実験用気体ボンベ酸素、二酸化炭素、窒素×班の数+2~3本

#### ○気体検知管

酸素、二酸化炭素用を予備も含めて、少し多めに準備しておきます。

#### ○エタノール

葉を脱色するときに使います。毒性のあるメタノールは児童には使用させないでください。

## 科学研究おうえんプロジェクトのお知らせ

新年度新たな事業として標記の行事を計画しています。内容は以下の通りです。開催日ごとに案内のポスター及びチラシを配布する予定です。対象は児童生徒とその保護者ですが、先生方の参加も大歓迎です。お待ちしております。（多少の変更の可能性あり）

### ・「春の植物観察会」・

- 日時 4月29日(昭和の日) 9:00~12:00
- 場所 教育センター周辺
- 内容 植物観察・採集・標本作り



### ・「海のいきもの観察会」・

- 日時 5月31日(土) 9:00~12:00
- 場所 番神海岸
- 内容 磯の生物観察・採集・標本作り



### ・「昆虫採集」・

- 日時 7月5日(土) 9:00~12:00
- 場所 赤坂山公園
- 内容 昆虫採集・標本作り



夏休みの科学研究は  
これでばっちり!

### ・「参考作品展」・

- 日時 8月12日(火)~23日(土) 10:00~17:00 (最終日は16:00まで)
- 場所 ソフィアセンター
- 内容 参考となる生物標本の展示 (昨年度科学作品展入賞作品の一部展示)

### ・「名前調べ会」(標本作製相談会)・

- 日時 8月23日(土) 10:00~15:30
- 場所 ソフィアセンター
- 内容 生物標本の名前の同定

## 心の窓

No.175

〒945 - 1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

## 教育相談班 今年度をふりかえって

## 《カウンセリングルーム》

H25年度のカウンセリングルーム来室相談は、2月末で相談件数631件、相談人数203人となっており、昨年同時期と比較して件数で5%の減、人数で5%の増でした。

相談内容の内訳では「不登校」に関する相談件数が最も多く、次いで「発達障害（通常学級）」となっており、ここ数年と同様の順位です。

今年度、当センターのカウンセリングルームが相談支援を行う上で重視してきたのは「連携・協同・環境調整」です。早い連携によって、適応指導教室への早期通室から早期の学校復帰へとつながった例、他機関との協同によって家庭介入を行い母親の養育負担感を減らせた例、発達障害の判断を基に特別支援学級の利用を開始して子どもの心理状態が安定した例、などの成功例も見られています。逆から言えば、連携・協同・環境調整を行わなければ解決に向かわないような複雑なケースも多くなっていて、医療・福祉など様々な援助資源に繋ぐケースワーク型の相談支援を要するようになってきていると言えるでしょう。

これからも、スタッフ全員で「専門的」かつ「総合的」なアプローチによる来談者支援を行っていく方針です。

## (1) 年代別面接相談件数【( )内は新規人数】

	幼 児	小学生	中学生	高校生	教員・一般	合 計
面接件数	16 (4)	405 (125)	195 (64)	3 (2)	12 (8)	631 (203)

## (2) 内容別面接相談件数【( )内は新規人数】

	就学 相談	通常学級 発達障害	特支学級 発達障害	不登校	いじめ	非行	集団 不適応	心身の 不調	情緒・精 神の障害	親子関係 の問題	その他	合計
面接件数	26 (13)	188 (79)	83 (18)	256 (63)	1 (1)	2 (2)	15 (6)	9 (6)	3 (2)	26 (8)	22 (5)	631 (203)

## (3) 発達障害児のソーシャルスキルトレーニング (SST) 「いろいろ体験グループ」実施状況

- ・小学生Aグループ (小学低中学年・男子) /全9回実施。メンバー述べ7名、参加人数述べ49名
- ・小学生Bグループ (小学高学年・男子) / " メンバー述べ8名、参加人数述べ41名
- ・小学生Cグループ (小学全学年・女子) / " メンバー述べ6名、参加人数述べ49名
- ・中学生①グループ (中学生・男女混合) / " メンバー述べ9名、参加人数述べ55名
- ・中学生②グループ (中学生・男子のみ) / " メンバー述べ9名、参加人数述べ58名

(文責 教育相談班・係長 小林)

## 《ふれあいルーム》

年度当初、9名の通級生でスタートしました。年度途中に通級生が増え、小学生2名、中学生15名となり、合計17名となりました。中学生がとても多く、その中でも中学3年生が9名で中学生全体の半数以上を占めました。2月28日には、中学3年生最終通級日ということで、送別会を開き、9名の中学3年生を見送りました。

ふれあいルームでは体験活動を重視し、いろいろな体験をし、人と接する機会を増やすことで少しずつ自信や存在感を取り戻しています。年度当初に通級していた通級生が、年度途中から学校復帰（部分復帰）できるようになり、1月末現在では、9割の子が学校復帰（部分復帰）することができました。再登校への意欲が低かった児童生徒が、早めに当ルームに通級を開始することで、学校復帰につながっていることも多いため、学校訪問相談員やカウンセラーから通級への誘いを積極的に行ってもらっています。

通級してきている通級生が毎日安定していなものの、めあての一つである「通級生同士のかかわり合い」は少しずつできるようになってきています。課題としては、朝の会に間に合わない通級生が多いことが挙げられます。朝すっきりと起きられないことや、バス等を利用して自力で通級できない通級生にとって、保護者の送迎が難しいことも一要因と考えられます。また、中学生が多いことから、学習指導や進路指導などの難しさもあります。学校や学級担任の協力を得ながら、連携して通級生の支援を行うことが重要であると考えます。今後も、学校・保護者と同じ方向・方針で通級生への支援を図っていきたいと思います。

### 《25年度の体験活動から》



(夢の森公園探検)



(笹団子作り)



(茶道教室)



(妙高宿泊)



(陶芸教室)



(そば打ち)



(スケート教室)



(ヨガ教室)



(スキー教室)

(文責 ふれあいルーム指導員 神林 治男)

## 《学校訪問相談》

平成25年度学校訪問回数は98件でした（平成25年3月18日現在）。主に、定期学校訪問、要請学校訪問、学校サポート協議会を実施してきました。

(1) 定期訪問での相談内容の内訳（小学校20校、中学校12校） ※（ ）内の数字は昨年度

相談内容	特別支援 (通常学級在籍)	不登校傾向 不登校	学級経営 学習指導	生徒指導	特別支援 (支援学級在籍)	その他
件数	27件(9)	14件(12)	5件(5)	1件(3)	6件(3)	1件(2)
割合	50%(26)	26%(35)	9%(15)	2%(9)	11%(9)	2%(6)

(2) 要請訪問での相談内容の内訳（要請件数 50件：小学校 50件、中学校 0件）

相談内容	通常学級における特別支援 学級経営・学習指導	不登校傾向 不登校	発達障害	その他
割合	36件 72% (35件, 81%)	8件 16% (5, 12%)	3件 6% (2, 5%)	3件 6% (1, 2%)

(3) 学校サポート協議会（ 11件： 小学校 8件、中学校 3件 ）

相談内容	不登校	不登校傾向・部分登校	別室登校	特性のある児童
割合	3件 27% (3件, 33%)	2件 18% (1, 11%)	2件 18% (5, 56%)	4件 37% (0)

ここ数年、通常学級に在籍する特別支援を要する児童・生徒に関することや学級経営・学習指導に関する定期・要請相談訪問が半数を超える状況になっています。また、学校サポート協議会での、特性のある児童についての相談が、昨年度は0件でしたが、今年度は4件ありました。一方、不登校関係についての相談も、要請訪問においてはわずかながらですが増えており、不登校に対する対応の強化が窺えました。このような状況の下、学校では、チームとして児童生徒・保護者を支援する等、学校体制が一層整えられてきていることを感じます。今後も、学校体制で取り組むとともに、全ての教職員が発達障害特性の理解を深め、ケースに合わせた具体的な策をもって児童生徒・保護者に対応することが大切と考えます。

学校訪問相談でも、関係機関と連携を図りながら、学校のニーズにあったより具体的な相談・支援を行っていきたいと考えております。

（文責 学校訪問相談員 春川 稔）



### 教育相談班 4月の予定



#### 《ふれあいルーム》

- 8日（火）通級開始日
- 11日（金）ソフィアセンター
- 14日（月）徒歩遠足
- 25日（金）保護者会



◇「定期学校訪問」は、25日（金）から予定しています。今年もよろしくお願ひいたします。

4月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	火	
2	水	相:班会議 (11:00-)
3	木	
4	金	情:転入・新任者向けスクールオフィス講習 (13:00-養教向け/15:30-学籍担向け)
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	ふ:前期前半通級開始
9	水	情:転入・新任者向けスクールオフィス講習 (教頭向け)
10	木	情:転入・新任者向けスクールオフィス講習 (事務職員向け)
11	金	ふ:ソフィアセンター
12	土	
13	日	
14	月	ふ:徒歩遠足 (天候を見て) 相:班会議 (13:00-)
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	特別支援事業説明会
25	金	科:理科主任会 ふ:保護者会
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	科:科学研究応援プロジェクト「植物観察会」9:00-
30	水	ふ:通級生面談
研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班		
ふ:ふれあいルーム 情:情報教育研修 育:育成センター		



所 員 随 想

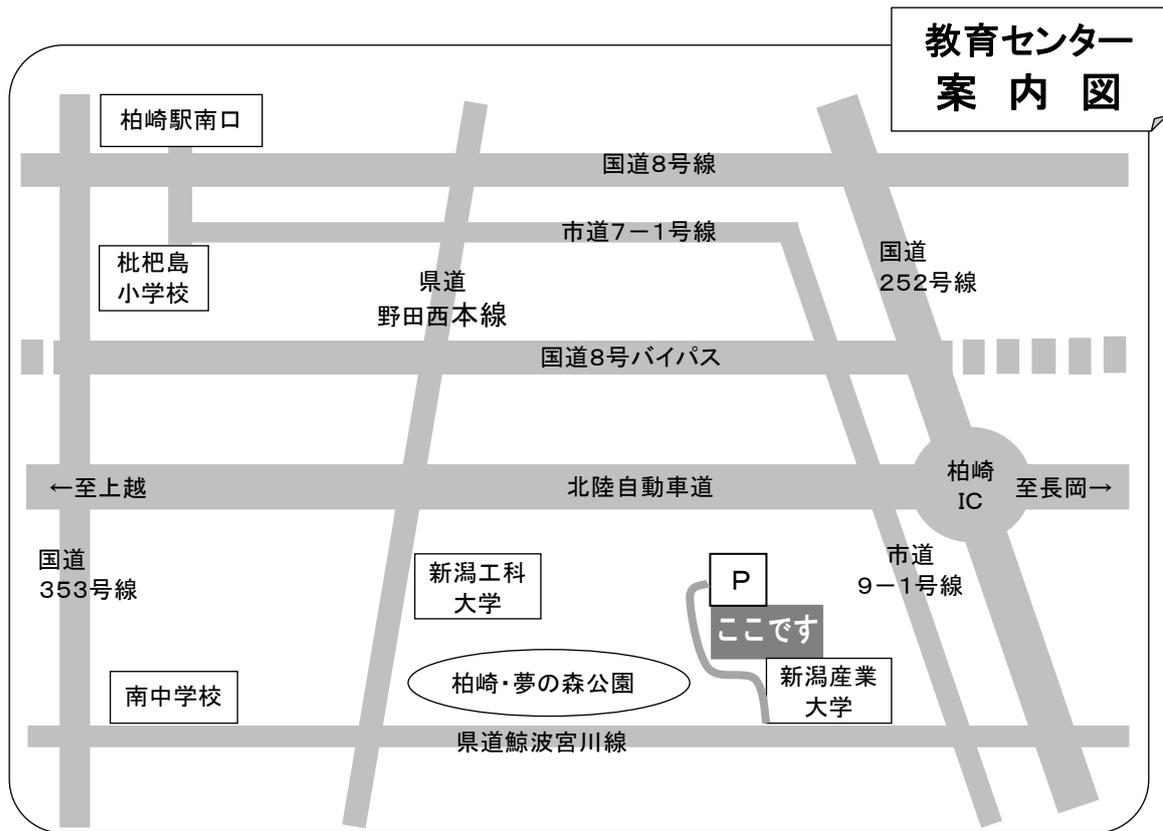
季節はめぐる

教育相談班相談員 植木 瞳

まだ寒さの厳しい日もありますが、日に日に雪が解け、道端のふきのとうも大きくなってきています。周りの景色から、春が近づいていることを感じる日々です。今年の冬、新潟は小雪ではありましたが、身体の芯まで凍てつきそうな空気、腰が悲鳴をあげる雪かき、いつハンドルがきかなくなるのだろうと不安いっぱい車の運転から解放されると、やはり自然に春を歓迎しています。

さて、日本の春といえば…「桜」と答える人は多いでしょう。桜は、主に北半球の温帯に広く分布しているものの、美しい花の咲く種類はアジア、特に日本列島に、多くの種類が集中しているそうです。きれいな白やピンク色の花々を愛でて春の到来を楽しむことができるのは、日本の特権と言っても過言ではないのかもしれませんが。さらに、日本では桜を鑑賞する風習は古くからあり、万葉集の中にも桜の花が詠まれた歌があるそうです。

万葉集の時代から千数百年経ち…今年も、もう少しでお花見の季節となります。皆様の周りの桜の木々も、目立たずとも着々と春の装いの準備を進めているのではないのでしょうか。年度末の忙しさの中にも、時々足を止めて、春の芽吹きを感じ取りたいものです。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

### 教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができます。ほか、小・中学校の教科書は、貸し出しも行っています。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システムURL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年3月発

=====